

天満屋倉敷店 2019年1月の画廊予定

◎ 4階美術画廊

会 期	内 容
12/26(水)～1/7(月)	<p>新春初夢 絵画工芸福の市</p> <p>物故巨匠から現代人気作家の日本画、洋画、版画、陶芸作品を一堂に集め、お求めいただきやすい特別価格にて販売いたします。また新春初夢企画として、大変お値打ちな福袋もご用意いたします。</p>
1/9(水)～1/14(月・祝)	<p>福寿草の会—福島隆壽とその教え子達</p> <p>岡山日展会会長を務めておられる倉敷市在住の岡山洋画壇の重鎮・福島隆壽先生と福島先生の教え子たちによる作品展です。福島先生は岡山県立高校の教諭をはじめ、鳥取大学、岡山大学の教授として後進の指導に尽力して来られました。洋画、彫刻、現代美術、版画、陶芸の分野から合計14名の作家が出品いたします。</p> <p>【出品作家】 <洋画>福島隆壽、飯田由賀里、飯塚康弘、岸本修、後藤晋、佐藤真菜、関野智子、常原佳子 <彫刻>飯田昌史、藤田英樹 <現代美術>岡部玄 <版画>三方和也 <陶芸>高階康之、武内立爾</p>
1/16(水)～1/21(月)	<p>郷原漆器作品展</p> <p>蒜山高原にある郷原集落で600年もの間作り続けられていた郷原漆器は終戦を境に一時生産が途絶えましたが、関係者の熱心な研究と協力で平成元年に復活しました。平成18年に岡山県指定重要無形民俗文化財に指定され、平成21年には真庭市の「真庭ブランド」に認定されています。シンプルなデザイン、丈夫で手頃な価格、普段使いの漆器として大変人気があります。飯椀、汁椀、雑煮椀、皿、ぐい呑、ヘギ板など200点以上を出品いたします。</p>
1/23(水)～1/28(月)	<p>—110年の時を超えて— オールドノリタケの世界展</p> <p>明治中期から第二次世界大戦頃にかけて主にアメリカへ向けて製造・輸出された陶磁器オールドノリタケ。当時の職人達が輸出先の趣向を取り入れ試行錯誤を繰り返して作られ、非常に優れた技術と芸術的なセンスが織り込まれた美術品の域に達した陶磁器です。芸術的な絵付けと繊細な細工で今なお収集家を魅了し続けているオールドノリタケの花瓶、絵皿、食器など約100点を一堂に展覧いたします。</p>
1/30(水)～2/4(月)	<p>—時の音色・森の旅人— ゆのん 風のおるごーる展</p> <p>京都で天然木を使用した創作オルゴールを制作しているゆのん(川原崎純子)先生の展覧会です。お子様のご病気がきっかけで、医師から「オルゴールが自律神経に良い」とアドバイスを受け、独学で木工を開始。木が持つあたたかさを生かした作品が支持され、地元京都を中心に作品を発表されています。製材からデザイン、パーツの加工・構成、音色の表現まですべてご自身で手掛け、細部にわたり1点1点手作りされた作品は、可愛らしいデザインと色彩でメルヘンの世界へ誘います。オルゴールが奏でるやさしい音色、そして木のぬくもりが伝わる心癒される作品約50点を出品いたします。</p>

作成：美術画廊担当 国光

営業時間 毎日午後6時閉場

※1/1・8・15・22・29は閉廊日

いずれも会期最終日は、午後4時に閉場いたします。

お問合せ

天満屋倉敷店 販売計画

TEL 086-426-2205

FAX 086-426-1136